

# 重点化プロ対応強化

## ACKグループ 連結対象に3社追加

ACKグループは、新タレント▽オリエンタルコンサルタンツグループ(海外建設コンサルタント)▽アサノ大成基礎エンジニアリング(土質・地盤などの専門コンサルタント)▽エイテックウエア開発(1の6社を

連地域活性化、事業経営、民間開発、海外新規開拓)を定め、受注活動を展開している。

今期新たに、オリエンタルコンサルタンツの子会社だったジェーエステック(さいたま市中央区、中尾毅社長)、アサノ大成基礎エンジニアリングの子会社だった鈴木建築設計事務所(千葉県松戸市、平山光信社長)、エイテックの子会社だった

アキバ(松江市、梅雅士社長)の3社を連結対象に昇格させた。

ジェーエステックは河川・砂防分野のコンサルタント業務、鈴木建築設計事務所は建築設計・監理業務、アキバは測量や地域コンサルタント業務を専門とし、地域と分野で他のグループ6社と事業の相互補完を狙った。27日に東京都内で開いた15年10月~16年3月期決算の説明会、野崎秀一社長は「重点化事業を増やす」との方針をあらためて強調。16年9月期にはモヒリティー向けラジオのアマネクチャンネルやアクアイグニス多気(前期63件)の重点化プロジェクトを実施する。アマネクチャンネルの運営は「アマネク・テレマーケティングデザイン」で、計画・設計を担当する。

しい収益モデルを開拓する重点化プロジェクトの受注活動を強化するため、新規に連結対象に3社を加えた。オリエンタルコンサルタンツなど主要6社で構成してきたグループは9社体制に拡大。需要が堅調なインフラ保全、防災、地域創生の3分野で受注活動を強化する考えだ。今期は国内初のモヒリティー向け専用デジタルラジオ「アマネクチャンネル」や国内最大級の滞在型複合施設「アクアイグニス多気」事業への参画も決めた。

ACKグループは、▽オリエンタルコンサルタンツ(国内建設コンサル